



皆野中だより 夏休み号



令和8年7月17日発行 第5号

皆野町立皆野中学校 TEL 62-0432 FAX 62-0076

【校訓】剛き意志 深き愛 自由の胸 純なるころ

【学校教育目標】人間力で自立する生徒の育成

【目指す学校像】ウェルビーイングを実現する学校

生徒数 1年69名 2年61名 3年75名 合計205名

運を高める行動「陰徳を積む」

校長 板倉邦弘

本日で1学期の授業日が終了しました。明日から8月31日（月）まで、45日間の長期にわたる夏休み（夏季休業日）となります。今年度は自由研究を全学年で希望者のみとするなど夏休みの課題を見直しました。これまでより自由度が広がる分、生徒の皆さんの自主性・主体性が問われることとなります。また、ご家族と過ごす時間や、特に3年生は進路選択に備えて上級学校の説明会等に参加する等の機会を大切にして欲しいと思います。

さて今号では、7月の全校集会で話した「運を高める行動」について改めて書かせていただきます。サッカーW杯が北中米を会場に開催されています。日本代表サムライ・ブルーこと森保ジャパンが快進撃を続け、今回も決勝トーナメントに進出しました。前大会に続きヨーロッパの超強豪国と互角に渡り合い、王者ブラジルをあと一歩まで追い込み、ますます世界からの評価が高まっています。そのサッカー日本代表の10番、堂安 律（どうあん りつ）選手が大会直前のNHKのスペシャル番組で次のように語っていました。

「優勝はもちろん目指しますが、正直、優勝するためにはかなりの運も必要だと思っています。自分はこの4年間、運を高めるための行動・発言・努力を積み重ねてきました。」

私は「運を高める」という言葉を聞いて、メジャーリーガー大谷翔平選手が高校生の時に書いた目標達成シートを思い出しました。大谷選手は「ドラフト1位で8球団から指名される」という大目標を達成するための

あいさつ	ゴミ拾い	部屋掃除
道具を大切に使う	運	審判さんへの態度
プラス思考	応援される人間になる	本を読む

要素の一つに「運」を掲げました。そして左のように運を高めるための行動を周りに8つ書いています。

「運とは、天から降ってくるものではない。日々の行動で高めていくものだ。」と高校生の大谷選手は考えていたのです。周りの人を大切にして、丁寧に生きて、人間力を高めていけば、思わぬタイミングで人から助けてもらえたり、アドバンテージがもらえたりする。それを周りの人は「運がいい」と言うのかも知れません。大谷選手が試合中にゴミを拾ってポケットに入れたことや、日本代表が試合後のロッカールームをピカピカに掃除することも、日本から駆け付けたサポーターが試合後に観客席のゴミ拾いをすることも有名です。

日本には「陰徳を積む」ということばがあります。人知れずコツコツと善い行いを重ねていくと、その結果としていつか自分に良いことがある、ということです。生徒の皆さんには夏休み中、小さなことでもよいので家庭でできる「陰徳」を積み、「運」を高めて欲しいと思っています。もちろん私もやります、人知れず…。

結びに、夏季休業中の生徒は学校の管理下を離れ、教員の目の届かないところでの生活が主となります。スマートフォンやPC等の適切な扱いや管理につきましては、学校でも指導いたしますが、契約者である保護者の皆様に全面的にご配慮をお願いいたします。また、交通事故や様々な犯罪に巻き込まれないように、地域の皆様にも生徒を見守ってくださいますようお願い申し上げます。